

タイトル～<スロット撤去問題の途中経過>と、「5.9号機」の現状動向

■「6月15日」～2回目の「全日遊連・日電協」協議があったが・・・

15日の午前中に行われた「2団体の協議」は、新しい発展もなく終了した模様。

結果的には、①「新基準に該当しない遊技機」の設置比率の目標値も、②「高射幸性遊技機削減」の目標値も、全く設定されていないまま、その協議では『全てが全日遊連側に下駄が預けられた』恰好である。

そして今週以降、あらためて「6団体協議」を迎える事になると思われます。

いずれにしても今後は、行政からの宿題は『あくまでも全日遊連に出されたモノ』として推移する事となる。

■「メーカー側の対応」はどうする？どうなる？

全日遊連としても、そもそも【日電協】だけに対して協議しても、なかなか難しい話であり、【新基準に該当しない遊技機=409機種】は、【日工組】に加え【非加盟】のメーカーがある訳で、その設置比率はそれぞれ・・・

【日電協=50%】・【日電協=5%】・【非加盟=45%】程度の設置比率となっている。

しかし、『日工組は日電協の判断に従う』としているので、残る問題は「ユニバーサル系含む非加盟メーカー」との協議も重要なポイントとなるが、それは「個々のメーカーとの協議」となり、相当の時間が必要になる。

何度も言うが、『最終的には全日遊連(=ホール側)が、行政に対してどのような答えを提示するのか？』が全ての課題の原点であって、メーカー側は『それをどうフォローするのか？』の問題になる。

回胴式～「新基準に該当しない遊技機」～市場台数TOP30 合計台数=501,500

日電協メーカー				
メーカー名	機種名	納品日	タイプ	設置台数
サミー	パチスロ北斗の拳 強敵	2015/9/6	AT	38,000
大都技研	押忍！サラリーマン番長	2014/9/7	AT	37,000
メーシー	SLOT魔法少女まどか☆マギカ	2013/12/15	ART-C	31,000
サミー	パチスロ北斗の拳 転生の章	2013/6/2	AT	24,000
エンターライズ	パチスロ モンスターハンター月下雷鳴	2014/3/16	AT	20,000
オリンピア	パチスロ黄門ちゃま喝	2015/1/18	AT	19,000
メーシー	バジリスク甲賀忍法帖	2012/6/10	ART-C	13,000
オリンピア	パチスロ ガールズ&パンツァー	2015/11/1	AT	9,000
サミー	パチスロ化物語	2013/10/6	AT	6,000
KPE	戦国コレクション2	2015/3/1	AT	5,500
オリンピア	パチスロラブ嬢	2013/10/20	AT	5,500
大都技研	押忍！番長2	2011/10/23	ART-C	5,500
オリンピア	戦国乙女～剣戴に舞う白き剣聖～西国参戦編	2014/6/1	ART-C	5,500
サミー	パチスロ交響詩篇エウレカセブン2	2013/11/4	AT	5,000
山佐	パチスロ ゴッドイーター	2015/5/10	AT	5,000
山佐	パチスロ モンキーターンII	2014/4/6	AT	5,000
サミー	パチスロ 蒼天の拳2	2014/6/15	AT	4,000
ベルコ	スーパービンゴネオ	2014/10/19	AT	4,000
オリンピア	主役は銭形2	2014/2/2	AT	4,000
ベルコ	プレミアムビンゴ	2015/11/1	AT	4,000
KPE	麻雀格闘倶楽部	2014/5/25	ART-C	4,000
メーシー	やじきた道中記乙	2014/8/3	AT	3,500
DAXEL	パチスロ 百花繚乱サムライガールズ	2015/10/25	AT	3,500
団体合計				261,000
占有率				52.0%

日工組メーカー					
メーカー名	機種名	納品日	タイプ	設置台数	
24	藤商事	パチスロ リング呪いの7日間	2014/7/21	AT	7,500
25	京楽産業.	ぱちスロAKB48 バラの儀式	2015/11/1	ART-A	4,000
				団体合計	11,500
				占有率	2.3%

  

非加盟メーカー					
メーカー名	機種名	納品日	タイプ	設置台数	
26	エレコ	バジリスク～甲賀忍法帖～絆	2014/1/26	AT	62,000
27	ユニバーサルプロス	ミリオンゴッド～神々の凱旋～	2015/4/5	AT	60,000
28	ミズホ	アナザーゴッドハーデス～奪われたZEUSver.～	2014/2/23	AT	50,000
29	アクロス	沖ドキー30	2014/8/17	AT	40,000
30	アクロス	沖ドキ!	2014/8/17	AT	17,000
				団体合計	229,000
				占有率	45.7%

## ■最終決定の予想は・・・どうなる？

以下、あくまでも私個人の予想に過ぎないが・・・

- ① **【2017年12月1日基準の30%合意】**については、基本『基準日の変更は無い』と思っている。  
無論、一時噂になった様な「期限の前倒しは有り得ない」と想定している。
- ② **【2017年12月1日基準日の数値見直し】**については、提案として『30%合意はそのまま維持だが、高射幸性機のみ「20%」に減少する』と言う答えも検討されるだろうが、「設置台数の10%減少」は、実質「約150万台」に該当する訳で、代替えとなる【5. 9号機】のリリースが、10月・11月に間に合う気配も薄いし実質は無理と判断。
- ③ **【2018年12月1日基準での全撤去】**については、「最終的な落としどころ」だと思われる。  
がしかし、「今年12月1日以降の1年間」での【5. 9号機】のメーカーリリースが未定の中のまま、結果的にホール側の対応も予測不可能となる状況では、あまりにも「ムリ筋」となる。
- ④ **【現行5. 5号機の販売期間の延長】**については、『その可能性はある』と考えて良い。  
そもそも、その日程は「(立て付けは)メーカー合意」であるし、行政側の「意向を付度した」に過ぎない。  
しかしそれは、【30%合意日程の見直し】、もしくは【全撤去へ向けてのスケジュール提示】、もしくは【高射幸性リスト機種の減少の具体的数値】が条件となる事は致し方ないと考えられる。

その他、様々な憶測が今後も流布されたりするのであろうが、少なくとも『もうココまで来ると、6月中には何も決まらないであろう』と思われる。今後は毎週のように協議が召集されるだろうが、そんな中での協議にて、【6団体協議】となると、「もう一つ」のホール団体として【日遊協】が参加する事が今後の鍵となる。

### ※【業界6団体】(再確認)

- ・<ホール団体(代表2団体)>～「全日遊連」と「日遊協」
  - ・<メーカー団体(代表2団体)>～「日工組」と「日電協」
  - ・<中古流通団体(2団体)>～「全商協」と「回胴遊商」
- ・・・の、業界内代表の【6団体】になる。

## ■スロット撤去問題に関連して、【5.9号機】の現状動向

ホールにとって、<最悪のパターン>としての「一つの想定」がある。これだけは避けるべきストーリーになる。  
<旧基準機の撤去期限が、来年12月1日となる>⇒<10月以降の新機種5.9号機リリースが少ない>⇒  
<仕方なく、現行5.5号機の中古導入となる>⇒<実力に見合わない中古機は、所詮稼働貢献が少ない>⇒  
<機械代の回収が困難極める>⇒<パチンコへの利益負担が増える>⇒<パチンコの稼働低下が加速する>⇒  
<店舗～法人としての収益低下>⇒<次期投資が不可能に>⇒<更なる稼働低下>⇒<閉店>  
間違っても、この最悪のストーリーだけは、回避しなくてはならない。

最大の課題としては、『最低でも、使える5.9号機が必要』が絶対条件なのだが、どうもその『5.9号機の開発速度が鈍い』気配を感じている現状である。

メーカーが開発をしていない訳では無いが、『何やら、新【6号機】開発に期待する』気配すら感じる。  
とは言え、未だに【規則改正】の進行状況もあやふやな現状で、「新規則」のルールすら確定していない。  
そんな中で、『6号機に期待する』と言うのも、それは『5.9号機としての「1,500ゲームART」がダメである』  
と言う証拠になってしまう。

## ■「利益構造の見直し」も視野に入れての検討は必至。

【5.9号機】の最大の欠点はただ一つに尽きる。『有利区間の出玉率が、全設定で同一である』と言う事。  
これは結果的に『通常時で設定差を付ける』事になるのだが、それは『設定が判別しやすくなる』事になる。  
【設定がバレる機械】をホールが導入しても、「勝てるのはプロだけ」となり、一般顧客は減少する事になる。  
結果的には、『ホールは買わない』のは当然。そして、メーカーは『売れない機械は作らない』のも当然。

ホールにとって【(適正粗利を確保した上で)稼働貢献する機械】とは、プロ連中の人気よりも、「一般顧客の支持」が最重要課題なのだから、メーカーが困っているのも分からなくもない。

本気で『低貸スロットの利益構造を見直すのか？』『パチンコの利益構造を見直すのか？』

現状の【撤去問題～5.9号機の現状】では、選択は上記【2つの履行】となる事は必至である。

パチンコ利益の「向上と安定」は、今後の基本課題であり、本コラムでも数回に分け触れて行く事になる。  
読んでいただけたら幸いである。

<このコラムは、有料コンテンツに該当しております。転載・配布・改ざん等はお控えくださいませ>

<また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします>